

平成 27 年 10 月 22 日

深谷市長 様

アウトレットへの 50 億円税金投入の
是非を住民投票で問う深谷市民の会
共同代表 岡野 一好
中島 百々代
中村 照芳

花園拠点整備プロジェクトに伴う市費の支出に関する質問書

標記の件について、市民及び議会に対し広く正しく事実関係を共有して、その判断に資するものとして、当会が主張している以下の 3 点について、新しく用意された市の説明資料にも明記されておりませんので、ご質問申し上げたいと存じます。市長の政治姿勢を問う最終問と合わせて、何卒、詳細かつ平易に書面にてご回答いただきますようお願い申し上げます。

1. 市長初当選直後、市長の支援者である建設会社を中心にチェルシージャパン（現在の三菱サイモン）によるアウトレットの民間計画が推進されましたが、当時は市地区計画による駅の設置も税投入もない民間進出であったものが、その後、市長の再選前に現在の公募による税投入に変更決定されましたが、その変更プロセスと理由について。
2. 現在、市長が説明を強化している 20 年で 130 億、50 億を 7 年で回収の根拠が一体何であるか未だ示されておりません。詳細な収入科目、支出科目、その数字について。
3. 今後の税の追加投入がある否かについて。実質的にプロジェクトによる支出であるにも関わらず、他事業で支出予定するなど、オリンピックの東京都対応のようにしないようお願いします。
4. 最後に、市長は一人の政治家として、納税者である市民が税金使途を問う権利についてどの程度重要なものとするか。重ねて、その権利の行使を閉ざされた場合、納税者の健全な納税思想にどのような影響を与えるかについて。

以上